

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	認証保育所運営補助事業				シート番号	014-089
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進	課 評価責任者(課長名)
						長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	保育所入所希望者(待機児童)の受け皿及び保護者の多様な保育ニーズへの対応が求められる中、平成16年度にモデル事業として3箇所スタートした。当初、対象児童は0~2歳児までとしていたが、平成22年度から3歳児までに拡充し実施した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 認証保育所 )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	認証保育所を利用する子ども及びその保護者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	施設が提供する保育サービスの維持向上と児童福祉の増進を図るほか、多様な保育ニーズにも対応することで、保育所等利用待機児童の解消にも資することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市が独自に定めた基準を満たす認可外保育施設を認証保育所として位置づけ、その運営に必要な経費の一部を補助する。 (0~2歳児:61,000~65,000円/人・月、3歳児:37,000~41,000円/人・月、兄弟姉妹入所軽減補助、利用料軽減補助あり)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	10	直接実施以外の主な支出先	認証保育所			

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	59,502	53,757	57,720	47,539	54,834	53,297	25,707
	主な事業費内訳	千円	59,502	53,757	57,720	47,539	54,834	53,297	25,707
	負担金、補助及び交付金	千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-	-	-
	国・府支出金	千円	28,148	27,004	23,172	24,792	24,935	24,935	10,131
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-	-
	市債	千円	-	-	-	-	-	-	-
	その他( )	千円	-	-	-	-	-	-	-
	一般財源	千円	31,354	26,753	34,548	22,747	29,899	28,362	15,576
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	61,142	55,397	59,360	49,179	56,454	54,917	27,347

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	認証保育所運営補助事業	シート番号	014-089
-------	-------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度は対象施設2施設への補助を行った。これまでも、利用定員の90%以上の入所率で推移しており、令和元年度においては95%と高い水準にある。市独自の基準を満たす(質が確保された)施設(認証保育所)への補助を通じ、質の担保された施設の利用促進とともに、保育所等入所児童待機児童数の削減にも一定の役割を果たしていると捉えている。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		入所率 (各年度3月1日)	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	93	96	95	95
				達成率	93%	96%	95%	95%
	評価			普通	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		各年度3月1日時点の「総入所児童数」÷「総定員数」にて算出					
	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目標値	-	-	-	-	
			実績値	-	-	-	-	
達成率			-	-	-	-		
		評価	-	-	-	-		

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	年間延べ入所者数	人	889	803	845
	②	上記①にかかる年間経費	千円	55,397	49,179	54,917
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	62,314	61,244	64,991
	備考(算出についての説明等)		設定指標が割合であることから単位当たり経費の算出に適さない為、年間延べ入所者数で算定。			
18		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①			-	-	-
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	-	-
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	-	-	-
備考(算出についての説明等)						

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		待機児童解消が達成できていない中であって、市が設ける基準を満たす施設(一定の質が確保された施設)として、認可施設を利用できない方にとって、「認可施設の補完的な機能を果たす施設」として利用されていると認識している。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	認証保育所運営補助事業	シート番号	014-089
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 施設が提供する保育サービスの維持向上と児童福祉の増進に影響を及ぼす。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 運営経費の一部及び対象児童に対する保育料軽減分を補助するため、施設の運営や利用者負担額に影響を及ぼす。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本事業は認証保育所の運営に必要な経費の一部を補助するものであるため、縮減することで利用する子どもの処遇に影響を及ぼす。また、令和2年度からは2施設の内1施設が保育所に移行したため、事業にかかる経費としては実質的に縮減したことになる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本事業は認証保育所の運営に必要な経費の一部を補助するものであるため、園内での3密回避や活動変容にまで影響を及ぼすものではない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 本事業は民間実施である。また、手法が限定されているため、左記の視点による改善は難しい。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 本事業は認証保育所の運営に必要な経費の一部を補助することにより、保育サービスの維持向上と児童福祉の増進を図ることが目的であるため現状を継続しての実施が必要である。なお、認証保育所が無くなれば本事業は廃止することとなる。